

**第2回 福知山鉄道館ポッポランドのあり方検討委員会
議事概要**

1 日 時 平成30年8月10日(金)午後2時30分～午後4時15分

2 場 所 市民交流プラザふくちやま 4階 会議室4-1

3 参加者

| | |
|---------------|--|
| 委 員 | 足立和義委員（福知山鉄道館ポッポランド運営委員会 館長） 足立政人委員（福知山商店街連盟 会長） 井上敬規委員（プラスソーシャルインベストメント株式会社 取締役） 榎原傑委員（元京都北都信用金庫 常務理事） 梶村誠悟委員（福知山商工会議所 専務理事） 杉岡秀紀委員（福知山公立大学 准教授） 福島慶太委員（一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社 福知山地域本部 福知山観光協会 会長） 吉見美晴委員（京都府行政書士会 常任理事） 赤井貴恵委員（市民公募） 本多洋子委員（市民公募） |
| 事務局 (福知山市) | 桐村部長、大西担当課長、渡邊係長、伊庭主事 |

4 会議概要

| 次 第 | 内 容 |
|------|--|
| 開会挨拶 | 桐村部長 |
| 情報提供 | 【資料】により説明。 |
| 協 議 | 互選により吉見委員及び赤井委員が副委員長に選出。 議論の結果、『福知山市内に、子どもから「親子連れ」お年寄りまで幅広い層（3世代）が集まる拠点をつくり、「鉄道のまち」福知山として魅せる化するとともに、「みんなでつくる」「まち全体が鉄道のまち」をキーワードに、市内外を問わず人々が交流できる場と機会を創造する。もって、先人の努力で培ってきた鉄道のまち福知山の歴史を次代に継承するとともに、市民のまちへの愛着や誇りを涵養し、かつ周辺地域とも連携しながら鉄道資源を活用した持続可能な観光地域づくりに寄与する。』を施設目的原案とし、次回検討委員会以降、主体、施設内容、資金調達などについて議論する。 |

| | |
|------------|---|
| | <p>(主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■従来の施設目的を漫然とコピー&ペーストするのではなく、この中で絶対に残しておきたいことや、新たに付け加えるべきことを議論していきたいと思います。 ■鉄道の歴史、先人の努力ということを継承していく上で、「鉄道のまち」という5文字は外せないキーワードであると思います。 ■ターゲットとか見せ方ということについては、これからも続いていく上で見直す必要があると思います。 ■子育ても含めて、もう少し考え方を变えて、より市民に親しんでもらえることが長続きする上で重要ではないかと考えています。 ■児童科学館は非常に多くの来場がありますので、場所の議論になってしまうかもしれませんが、児童科学館とポップランドを複合化させてはどうかと考えています。広い駐車場もありますので、相乗効果でより多くの子ども達に利用していただけるのではないかと考えています。 ■福知山駅は30万人都市に匹敵する駅舎です。例えば駅舎の中で、場所は少し小さくてもポップランドがあれば、外から来られる方にもたくさん見ていただけることがベストなのではないかと思ます。 ■中心市街地活性化と鉄道のまちを一緒くたにしていることでわかりにくくなっているのではないのでしょうか。ポップランドについては、切り離して考えていただきたいと思います。 ■資金関係についてですが、運営主体としては、公設公営というのは一番難しいと考えております。毎年、事業評価を行い、色々な民間業者の工夫や競争も生まれるような運営主体がよい。言葉は悪いですが、天下りの運営主体がずっと漫然と運営をしていくというのは続かないと考えています。 ■ポップランドは1つの施設をさしているのではなくて、まち全体をさしてポップランドであるという推し出しかたもできるのではないかと思います。 ■本当に鉄道のまちということを市全体で共有することができるのかということが不安です。特に、小学校で鉄道のまちについて積極的に学習がしていただけていないという状況で、鉄道のまちなのだということ盛り上げていくことができるのでしょうか。 |
| <p>その他</p> | <p>次回検討委員会日程を、平成30年9月7日(金)午後2時30分～午後4時00分に決定。</p> |